

1. 報告:中期目標・計画の第一期実績

今年度より第二期の中期目標・計画の下でさらなる飛躍を遂げるべく、香川大学としての新たな一歩を踏み出しました。生涯学習教育研究センターも設置当初から課せられた本来の機能(教育・学習分野での大学開放)の発揮とともに、教育・学生支援機構を支える役割をも担いつつ、気持ちも新たに再出発しました。

さて、今回のニュースレターでは、第一期の実績をセンター事業を中心に(教員個人の教育・研究業績は除く)振り返ることで、次回報告の第二期の目標・計画につなげたいと考えています。

まず、法人化を迎える時点でのセンター担当教員が非常に若かったことが特徴としてあげられます。省令施設として発足した本センターの役割は堅守しつつ、教員それぞれの感性を生かし、新しい取り組みに積極的に乗り出しました。代表的なものを一覧として記載します。(ルーティーンワークや教員個人の教育・研究について特筆すべき事項はこれまでのニュースレター等にてご高覧下さい。)



第一期中期目標・計画の期間に新規に取り組んだ事業一覧

年		新規事業
平成15年度	3月	「地域の指導者養成に係る香川大学と香川県教育委員会協定」の締結
平成16年度	5月	協定に基づき「かがわ県民カレッジ研究・実践講座」の開設(公開授業の開始)
	5月	ニュースレター創刊
	5月	高松市生涯学習センターと連携し、「高松市地区公民館職員研修会」(後に「生涯学習コーディネーター養成講座」へ発展)の実施
	6月	公開講座実施へのインセンティブを高めるパイロットプロジェクト(研究費組替)の開始
平成17年度	6月	丸亀市教育委員会と地域リーダー養成のための「生涯学習まちづくり丸亀塾」(後に「生涯学習まちづくり丸亀塾」)の連携強化
	3月	「香川大学と香川県教育委員会との生涯学習アドバイザー派遣に係る協定」の締結
平成18年度	4月	協定に基づき、毎週水曜日13:00~17:00にセンター担当教員の派遣開始
	7月	公開シンポジウムの開始(第1回は「災害に強いコミュニティづくり」)
	11月	野村證券株式会社との連携による「公開セミナー」の開始
平成19年度	7月	「四国地区社会教育主事講習」(7月23日~8月23日)の開催
平成20年度	9月	生涯学習教育研究センター30周年記念行事(記念誌の発行及び記念講演・シンポジウムの開催)の開催
平成21年度	9月	日本損害保険協会との連携による「公開セミナー」の開始
	2月	e-learningシステムを活用した徳島大学との連携公開講座(「日本の国宝、仏像をたずねて」)の開催

生涯学習教育研究センターは、香川大学の教育研究機能を生涯学習機会の提供という方法を用いて地域に還元することを目標のひとつとして掲げています。それをより円滑に進めるためには、学内の理解を深める努力が必要でしょうし、学外の教育学習機関との緊密な連携が必要でしょう。このような視点を大事にしながら、6年間の業務に取り組んできたつもりです。まだまだ力不足のところもありますが、第二期を迎えるに当たり、さらに気を引き締めて取り組もうと思います。

ところで、平成19年度の香川大学の組織改編により、教育・学生支援機構生涯学習教育研究センターとして、新たに機構としての取り組みにも参画することとなりました。現代GP(「地域連携型キャリア支援センターの新機軸」平成18～20年度)及び学生支援GP(「主体性の段階的形成システムCPS」平成20～23年度)にも深く関与しているところです。新しい教育課題に取り組む際に、生涯学習教育研究センターのような地域の教育学習機関とのパイプをもつ部局が、そのネットワークとフットワークを生かし大学に貢献することが今後ますます求められるのではないかと考えているところです。



今回のニューズレターでは、第二期中期目標・計画の内容についてご報告することになります。

文責:清國祐二

2. 香川大学オープンセミナー(出張無料講座)の開設

今年度より新規事業を開設しました。(社)日本損害保険協会との共同企画による出張無料講座(オーダーメイドのワークショップ&レクチャー)です。初めての取組ということもあり、下記の3つの条件をクリアしたところ5か所に出張することになっています。条件は、①範囲は県内とする、②1講座の参加者数は20～40名とする、③テーマは「活動中の危険とその備え」とし、詳細は決定後打ち合わせをする、としました。

今回、幸いにもNHKのローカルニュースに取り上げられたり、四国新聞にも掲載されるなど、広報面では恵まれました。申し込みはやや苦戦していますが、さまざまな責任が問われる社会になってきて、リスクマネジメントは組織にとっても個人にとっても大きな課題となってきました。このような必要課題の学習に高等教育機関が支援を行うことについては一定の意義があるものと考えています。

オープンセミナーの申込方法等につきましては、下記をご覧ください。

<http://www.kagawa-u.ac.jp/lifelong/>

センター雑感

近年毎年実施している公開講座「自分史・地域史をつくろう」では、受講生お一人お一人の経験や、自分で調べた結果を執筆し、お互いに批評しあいます。最後に小冊子にまとめるのですが、担当講師の私の作業量も膨大です。でも、講座終了後に「来年も受講したいので、ぜひ続けて下さい!」というお手紙を頂くと、疲れはすべて吹き飛んでしまいます。(山本)

バックナンバーは下記のWebサイトに掲載されています。是非ご覧ください。

Tel. 087-832-1273 Fax. 087-832-1275 URL. <http://www.kagawa-u.ac.jp/lifelong/> Email. syogse@ao.kagawa-u.ac.jp